

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
資料配付

配付 令和8年1月23日
日時 本資料の配付をもって解禁

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会第2回定例会議を開催しました
— 審議概要を公表します —

北陸地方整備局入札監視委員会第二部会は、令和7年度第2回定例会議を令和7年12月19日に北陸地方整備局で開催しました。
定例会議では、入札・契約手続の運用状況等の報告及び委員が抽出した6件の事案について審議が行われました。
審議の結果、委員による意見の具申又は勧告はありませんでした。

※ 入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するため、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。
委員会には第一部会と第二部会があり、港湾空港関係は第二部会で入札・契約手続に係る事項について審議されます。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ
福井県政記者クラブ

問い合わせ先

北陸地方整備局入札監視委員会・事務局
電話 025-370-6650（経理調達課）
契約管理官 外立 正六
経理調達課長 松浦 千恵

北陸地方整備局入札監視委員会（第二部会第2回定例会議） 審議概要

開催日及び場所	令和7年12月19日（金） 北陸地方整備局 新潟市中央区美咲町1-1-1		
委員	部会長 内山 智絵（公認会計士） 出席 部会長代理 丸山 央（弁護士） 出席 委員 石川 耕三（新潟大学准教授） 出席 部会委員現在数3名 出席3名		
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日		
抽出案件	総件数 6件		
工事	一般競争入札方式（WTO対象外）	1件 新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2）	（備考）
	一般競争入札方式（WTO対象外）	1件 直江津港（港口地区）防波堤（沖）（改良）基礎工事（その1）	
	工事希望型以外の指名競争入札方式	1件 小松空港誘導路改良工事	
夕建 ン設 トコ 業 ン 務サ 等ル	一般競争入札方式	1件 伏木富山港（伏木・富山地区）環境調査	
	一般競争入札方式	1件 敦賀港計画・調査等補助業務	
役 物 品 及 び	一般競争入札方式	1件 「白山」喫水計及び配電盤部品購入	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

※審議対象案件については、北陸地方整備局入札監視委員会規則第9条により、当番委員が抽出。

意見・質問	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等の報告】</p> <p>〔入札方式別発注工事等一覧〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔指名停止等の運用状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔談合情報等の対応状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔再度入札における一位不動状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔一者応札の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔不調・不落の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>〔高落札率の発生状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p>【抽出案件】</p> <p>1 工事：港湾等しゅんせつ工事 一般競争入札方式（WTO対象外）</p> <p>「新潟港（西港地区）航路泊地浚渫工事（その2）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工期が9月から翌年3月までの下期となるが、上期も浚渫工事があるのか。 ・ 上期の工事は、当該工事の受注者と違う業者か。 ・ 昨年度a者は単体で入札に参加していたが、今回b者とJVを組んだことについて理由を聞いているか。またはどのように推察しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上期はグラブ浚渫を行っている。グラブ浚渫は、クレーンで土砂をすくい土運船で沖に運んでいる。夏季は問題ないが冬季は波で海が荒れるためポンプ浚渫を採用している。 ・ 違う業者が施工している。 ・ 発注規模が大きい工事については、JVでも参加を認めているが、単体かJVを組むかは企業の判断となるため把握していない。

2 工事：港湾土木工事
一般競争入札方式（WTO対象外）

「直江津港（港口地）防波堤（沖）（改良）基礎工事（その1）」

- ・波高が以前よりも1.42m高くなっているとのことであるが、要因は何か。
- ・ケーソンの沈下の要因は何か。
- ・直江津港特有のものか。他港でも起こる可能性はあるのか。
- ・ケーソンは、波が強いと倒れるようなことも起きるのか。
- ・今回の工事はケーソンを後ろから支えるようなものか。
- ・工事前に調査することになった経緯としては、ケーソンが破損等していることに気付き状況が変化してきたものと判断したためか。
- ・現地の点検等はどのように行っているのか。

3 工事：空港等舗装工事
工事希望型以外の指名競争入札方式

「小松空港誘導路改良工事」

- ・入札不調が続いたことや当該工事において二者応札であったが、入札不調や応札が少なかったことについて、どのような原因があるのか。
- ・自衛隊共用空港とのことだが、滑走路は防衛省管轄でそれ以外の誘導路等は国土交通省が整備を行うのか。
- ・技術者不足で入札不調が続いているとのことだが、地域要件により参加者が限られてしまうことはないのか。
- ・地域要件を緩和することは考えていないのか。

- ・港湾構造物の波高は、観測データやシミュレーションにより50年確率波を求め、設計波を設定している。防波堤整備を始めたのが約20年前で、その後ケーソンが少し移動したり破損したことから、再度、最新の気象条件により再設定している。
- ・原地盤が粘性土であるため沈下した。
- ・気候変動により台風や冬季風浪が大きくなったり潮位が高くなってきている傾向にある。少しずつ影響が出てきており、他港でも起きる可能性はあると考える。
- ・地震を除けばケーソンが倒れるケースは少ないと思われるが、直江津港の場合は波の力で港内側に横ずれしている。
- ・そのとおりである。ケーソン背後に腹付石を投入しケーソン上部の嵩上げを行う工事である。
- ・そのとおりである。
- ・港湾管理者である新潟県と国が連携して職員が現場確認を実施している。

- ・空港工事の場合は一般工事と違い、特に小松空港の場合は自衛隊機のスクランブルがあり、その都度機材を待避させなくてはならず、その他にも施工上の制約があつて空港工事の経験がないと施工することが困難になる。また技術者不足で技術者を配置できないことが原因である。
- ・そのとおりである。
- ・空港工事に携わった業者はいるが、能登半島地震の影響で県市町村の災害復旧工事が多数発注されており、空港工事経験を有する技術者が既に他工事に配置されているため当該工事に参加したくてもできない状況となっており、能登半島地震が一つの要因と考えている。
- ・A等級有資格者でも管内に営業所があれば競争参加を認めており問題ないとする。また、今回指名競争入札を採用しているが、工事の要件を満たす者全てを指名して入札手続きを行っており、一

4 建設コンサルタント業務等：測量・調査
一般競争入札方式

「伏木富山港（伏木・富山地区）環境調査」

- ・調査期間がほぼ1年と長いですが、1年かけて調査を実施しているのか。
- ・騒音調査中において騒音が発生した場合、その結果はどのように報告書へ反映されるのか。

5 建設コンサルタント業務等：建設コンサルタント等
一般競争入札方式

「敦賀港計画・調査等補助業務」

- ・大変重要な業務で当該業務がないと業務が回らないような印象を持った。今回一者応札であったが、それでも外注する理由は何か。
- ・これは単年度契約で、継続して実施している業務か。
- ・受注者は同一業者か。
- ・このような業務は、全国的に発注されているのか。

6 役務及び物品：物品の製造等
一般競争入札方式

「「白山」喫水計及び配電盤部品購入」

- ・交換する3つの部品は特別なものか。
- ・盤用クーラーのメーカー推奨の耐用年数は何年か。
- ・毎年このような形で部品交換を行っているのか。

般競争入札と変わらない形になっている。

・伏木地区は、調査項目のすべてではないが四季毎に調査を実施している。富山地区の騒音振動調査は、年間を通してその時々調査を実施している。

・工事実施前の状態で騒音調査を行い、工事期間中は騒音規制法の基準値を超えていないか計測している。工事期間中の騒音数値は、速報値として仮報告を受けており騒音が発生していないか確認している。今回、基準値を超えるような値は発生しなかったが、継続工事がある場合は調査結果報告を反映させることは可能と考える。

・限られた職員で業務を行うよりも、外部の技術力のある者と協力しながら行うことで、限られた時間で着実に安全に工程を進めることに繋がるため、このような形で発注含め体制を整えている。

・単年度契約で、過去3年間継続している案件である。

・結果として同一業者が受注している。多くの業者が参加できるよう仕様書の内容等を工夫しながら行っているが、昨今の技術者不足もあり技術者配置で制約がかかっているところもあるのか結果的に一者応札となっている。

・この件名で発注しているのは北陸地整だけになるが、他局でも類似した業務を発注している。

・既製品ではあるが特殊のため受注生産である。

・船自体の耐用年数が20年となっている。取り付けられている機器毎に様々であるが、船自体の減価償却が10年となっており、これらの機器についても最大で10年が耐用年数になる。

・年1回定期修理を行っており、その中で交換を推奨された部品を報告書にまとめてもらい、翌年度に交換する流れとなっている。

審 議 案 件 詳 細

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式 (WTO対象外)	新潟港(西港地区)航路泊地浚渫工 事(その2)	港湾等しゅんせ つ工事	1	1	R7.9.26	本間・東亜特定建設工事共 同企業体	661,980	91.82
一般競争入札方式 (WTO対象外)	直江津港(港口地区)防波堤(沖)(改 良)基礎工事(その1)	港湾土木工事	4	3	R7.5.20	(株)近藤組	100,100	91.04
工事希望型以外の 指名競争入札方式	小松空港誘導路改良工事	空港等舗装工事	15	2	R7.9.19	鹿島道路(株)	79,200	96.40

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	伏木富山港(伏木・富山地区)環境調 査	測量・調査	1	1	R7.4.18	三洋テクノマリン(株)	33,000	87.16
一般競争入札方式	敦賀港計画・調査等補助業務	建設コンサルタント等	1	1	R7.4.1	(一財)港湾空港総合技術セ ンター	28,490	93.67

【役務・物品】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)
一般競争入札方式	「白山」喫水計及び配電盤部品購入	物品の製造等	2	2	R7.7.16	(株)ハイメックスキタヤマ	12,540	83.70